

米と天皇

天皇が田植えをする姿、あるいは新嘗祭や宮中への新穀献納など、米と天皇は、深くつながっているようにみえます。世界的にも、穀物の収穫管理は、古くから支配者にとって最も重要なしごとのひとつでした。しかし、天皇をめぐる米の儀式の多くは、昔からあるかのようにみえて、実は明治以降につくられた新しい儀式だといわれています。

また、米の文化と品種改良は、天皇を中心として形成された植民地支配でも重要な役割を果たしました。主食として、あるいは発酵食品の原料として、アジアの食文化を支えてきた特別な食べ物である米をはじめ、日本の農業を、天皇制の物語も巨大資本の回路も通らずに、人と自然、人と人をつなぎなおし、地域を豊かにしていく要にしていくにはどうしたらよいのか、と問う藤原辰史さんをゲストに迎えます。有機農業をアピールした排外主義政党が議席を得るなか、米と農と食をめぐる議論にぜひ、ふるってご参加ください。

日 時：2026年11月3日(火・休) 14:00～16:30

お 話：藤原 辰史さん

会 場：wam オープンスペース(定員 40 名／要予約・先着順)

参加費：1200円(wam 会員。非会員は1700円)



*オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信(1か月)になります。

お申し込みは左記二次元コードから。wam 事務局にメールをくだされば URL をお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。

【ゲスト紹介】ふじはら・たつし

1976年、北海道に生まれ、島根で育つ。京都大学人文科学研究所教授。専門は農業史、環境史。

単著に『ナチス・ドイツの有機農業』(柏書房、2005年)、『ナチスのキッチン』(水声社、2012年)、『稲の大東亜共栄圏』(吉川弘文館、2012年)、『トラクターの世界史』(中公新書、2017年)、『戦争と農業』(集英社、2017年)、『給食の歴史』(岩波新書、2018年)、『分解の哲学』(青土社、2019年)、『縁食論』(ミシマ社、2019年)、『食権力の現代史』(人文書院、2025年)、『生類の思想』(かたばみ書房、2025年)ほか。共著に『中学生から知りたいパレスチナのこと』(ミシマ社、2024年)、『鶴見俊輔の発想法』(編集グループ SURE、2026年)ほか、幅広い分野で研究、執筆している。



主催：アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)
東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACO ビル 2F 〒169-0051
t 03-3202-4633 f 03-3202-4634 wam@wam-peace.org

wam セミナー 天皇制を考える

「日本軍性奴隷制を裁く 女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)から20年となる2020年 9 月から、wam では天皇制由来の「祝日」のうち4日間を「祝わない」ために開館することにしました。天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

■これまでのセミナー

第1回 2020年11月3日

叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」を結ぶもの―「明治節」に考える―
お話：池田浩士さん(京都大学元教員)

第2回 2021年2月11日

桜の国の悲しみ、菊の国への抗い―「紀元節」に伝えておきたいこと
お話：石川逸子さん(詩人)

第3回 2021年2月23日

「歌会始」が強化する天皇制―序列化される文芸・文化
お話：内野光子さん(歌人)

第4回 2021年4月29日

「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任―近年の研究成果から学ぶ
お話：山田朗さん(明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

第5回 2021年11月3日

近代天皇と家族の表象
お話：北原恵さん(大阪大学元教員)

第6回 2022年2月11日

近代天皇制がつくってきた差別―水平社宣言から100年を機に考える
お話：黒川みどりさん(静岡大学教員)

第7回 2022年4月29日

天皇と戸籍
お話：遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非常勤次席研究員)

第8回 2022年11月3日

撃ちてし止まむ！
お話：池田浩士さん(京都大学元教員)

第9回 2023年2月11日

天皇制と仏教
お話：源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

第10回 2023年4月29日

植民地責任から問う―靖国神社、合祀の罪(準備編)
映画上映：『あんによん・サヨナラ』(監督：金兌鎔、共同監督：加藤久美子／2005年／107分)
アフタートーク：南相九さん(東北アジア歴史財団研究政策室長)

第11回 2023年5月25日

植民地責任から問う―靖国神社、合祀の罪
お話：李熙子さん(太平洋戦争被害者補償推進協議会代表)

第12回 2023年11月3日

日本の近現代史からみる―天皇制と勲章
お話：栗原俊雄さん(毎日新聞専門記者)

第13回 2024年2月11日

「国民」が支える象徴天皇制なぜ天皇制に終止符が打てないのか
お話：伊藤晃さん(千葉工業大学元教員)

第14回 2024年4月29日

女のからだと天皇制―墮胎罪と「不良な子孫」の出生防止
お話：大橋由香子さん(フリーライター・編集者)

第15回 2024年11月3日

「皇国史観」はどう作られたか―文部省の思想統制政策と歴史家の責任
お話：長谷川亮一さん(立教大学日本学研究所研究員)

第16回 2025年2月11日

天皇のお金―明治から戦後まで
お話：加藤祐介さん(一橋大学大学院専任講師)

第17回 2025年4月29日

沖縄と天皇制―疑似天皇制に振り回される女性たち
お話：宮城晴美さん(沖縄女性史家)

第18回 2025年11月3日

在日朝鮮人と天皇制―指紋押捺拒否の闘いから
お話：崔善愛さん(ピアニスト)

第19回 2026年2月11日

天皇制裁判の現在地―靖国神社と政教分離
お話：井堀哲さん(弁護士)

第20回 2026年4月29日

「国旗」と暴力―としまると考える日の丸
お話：としまるさん(富山大学元教員)

会員になりませんか？

●友の会年会費：3,000円 ●維持会員年会費：10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。
維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号：00110-2-579814

口座名称：「わたしの戦争と平和人権基金」係

wam
アクティブ・ミュージアム

わたしの戦争と平和資料館
women's active museum on war and peace

開館時間：金・土・日・月 13:00～18:00
2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため開館

休館日：火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料：18歳以上 500円
18歳未満 300円
小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051
T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org
URL:https://wam-peace.org

